

別紙

データヘルス計画の評価・見直し整理表

◇計画の名称 寄居町国民健康保険データヘルス計画
 (第2期保健事業実施計画・第3期特定健康診査等実施計画)
 ◇法律 国民健康保険法第82条
 ◇実施主体 保険者(寄居町)
 ◇計画期間 平成30年度～令和5年度

【評価】
 a:改善している b:変わらない
 c:悪化している d:評価困難
 ※改善しているが、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a*」と記載。

STEP1 データヘルス計画全体の目標							STEP4			
目標		実績値				評価	達成につながる取組・要素	未達につながる背景・要因	今後の方向性	最終目標値
指標	目標値(R5年度)	ベースライン(H28)	H29年度	H30年度	R1年度					
1 65歳健康寿命	延伸	男 16.85年 女 20.14年	男 18.84年 女 24.09年	男 17.25年 女 20.12年	—	a	関係機関との連携強化。	高齢化率の上昇や生活習慣・環境の変化。	継続して実施し、関係機関と連携のうえ健診受診率、特定保健指導実施率の更なる向上を図る。	延伸
2 生活習慣病の発症予防、重症化抑制	普及啓発(受診勧奨通知数、健康教室)	—	—	健康教室参加者数 高血糖 14人 高血圧 32人	受診勧奨通知数 20人(うち医療機関受診6人)	d	専門医、管理栄養士、保健師等との連携。	住民の健康に対する意識が低い。	継続して実施し、参加者の増加と生活習慣の改善に取り組む。	高血糖・高血圧の未治療者の割合20%減少
3 医療費適正化	ジェネリック医薬品数量シェア	61.5%	65.3%	77.8%	79.0%	a	差額通知発送等の普及啓発。	かかりつけ薬局やお薬手帳が活用されていない。	継続して実施し、かかりつけ薬局、お薬手帳の普及を推進する。	80.0%

STEP2 上記目標を達成するための個別保険事業							STEP3				
目標値		実績値				評価	成功要因	未達要因	事業の方向性	最終目標値	
事業名	指標	目標値	ベースライン(H28)	H29年度	H30年度						R1年度
①特定健診	受診率	60%(達成時期:R5年度)	37.7%	39.6%	40.4%	40.8%	a*	委託先(深谷寄居医師会メディカルセンター)との連携強化。	国の目標値との整合性を図ったが、実態に即していない。	事業は継続し、受診機会の拡充に努める。目標値は最終目標値と乖離しているが、修正しない。	60%
②特定保健指導	実施率	60%(達成時期:R5年度)	動機付け支援14.7% 積極的支援7.1%	動機付け支援9.7% 積極的支援6.4%	動機付け支援11.7% 積極的支援4.7%	動機付け支援20.8% 積極的支援22.2%	a*	委託先(深谷寄居医師会メディカルセンター)との連携強化。	国の目標値との整合性を図ったが、実態に即していない。	事業は継続し、更なる啓発を行う。目標値は最終目標値と乖離しているが、修正しない。	60%
③生活習慣病重症化予防のための普及啓発	Ⅲ度高血圧以上またはHbA1c6.5以上の未治療者の割合	20%減少(達成時期:R5年度)	—	—	健康教室参加者数 高血糖 14人 高血圧 32人	受診勧奨通知数 20人(うち医療機関受診6人)	d	専門医、管理栄養士、保健師等と連携し、事業を実施した。	計画当初のベースラインが明文化されていないため、評価困難。	参加者の増加を目指し、安定した事業実施のための調査・研究を行う。評価は最終年度に行い、目標値は修正しない。	Ⅲ度高血圧以上またはHbA1c6.5以上の未治療者の割合20%減少
④健康チェックコーナー(脳血管疾患予防事業)	開催数、利用者数	毎月1回開催、利用者数	—	—	—	(R1~)10回開催 936人利用	a	定期的な開催により、利用者の健康意識の醸成ができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止及び一部実施で再開せざるを得なかった。	当面の間、事業の一部実施で継続する。利用者数は、現状において目標値設定が困難なため、最終年度に実績を評価する。	月1回開催
④プラス1000歩運動(スマイルポイント事業から移行)	参加者数	1000人(達成時期:R5年度)	参加者数703人	参加者数1099人	参加者数1011人	参加者数1006人	b	県のコバトンマイレージ事業と同時実施した。	個人の参加者ではなく、企業の参加者数を実績値に影響してしまう。	継続して実施。健康づくりの機運の醸成ができ、他の健康づくり事業への参加者が増加した。	1000人
⑤各種がん検診	受診率	胃がん12% 肺がん18% 大腸がん18% 乳がん15% 子宮頸がん17%(達成時期:R4年度)	胃がん8.8% 肺がん13.8% 大腸がん13.4% 乳がん9.9% 子宮頸がん12.0%	胃がん11.4% 肺がん14.0% 大腸がん13.5% 乳がん9.7% 子宮頸がん11.9%	胃がん11.5% 肺がん14.4% 大腸がん13.8% 乳がん8.8% 子宮頸がん11.8%	胃がん11.5% 肺がん14.2% 大腸がん14.4% 乳がん8.9% 子宮頸がん10.9%	b	健診と同時実施、胃の内視鏡検査の導入、検診機会の拡充を図った。	町民の健康づくりに対する意識が低い。特に乳がん、子宮頸がんの受診率が低下している。	継続して実施。全体の受診率は微増しているが、乳がん、子宮頸がんの受診率は減少しているため、普及啓発を強化しなければならない。	胃がん12% 肺がん18% 大腸がん18% 乳がん15% 子宮頸がん17%を超える受診率に達する